

## 会 報

### 平成18年度第1回日本公衆衛生学会理事会議事録

1. 日 時 平成18年4月27日(火)13:30～16:30
2. 場 所 東京厚生年金会館
3. 出席者 理事長 實成文彦  
           理 事 相澤好治 足立己幸  
                   梅田 勝 敏 博  
                   遠藤 明 大井田隆  
                   角野文彦 小林廉毅  
                   近藤健文 中村好一  
                   平野かよ子 本橋 豊  
                   柳川 洋 吉田勝美(15名)  
           監 事 岡崎 勲 宮武光吉(2名)

#### 委任状提出者

- 学会長 鏡森定信(1名)  
 副会長 岩元達弘 鎌仲 博  
           福田 孜(3名)  
 理 事 阿彦忠之 上島弘嗣  
           岸 玲子 児玉和紀  
           篠崎英夫 高岡道雄  
           中垣晴男 中川秀昭  
           三浦宣彦 村嶋幸代(10名)

#### オブザーバー

- 小西正光(愛媛大学医学部公衆衛生学教授)  
 関根道和(富山大学医学部保健医学講師)  
 椎葉茂樹(富山県衛生部次長)

現在理事数29人,出席者15人,委任状提出者14人  
 学会規定第13条第1項による定数に達している  
 ことを確認の後,實成文彦理事長が議長となり開  
 会を宣した。議事に先立ち實成理事長から挨拶が  
 あった。

#### 議事録署名人の選出

議事録署名人に大井田隆,遠藤 明理事が指名  
 された。

#### 議 事

##### 第1号議案 第65回(平成18年度)日本公衆衛生 学会総会について

鏡森定信学会長が欠席のため富山大学医学部関  
 根道和講師から,資料に基づき説明があった。

1. 順調に準備を進めており,昨年よりさらに  
 電子化を進め,宿泊,昼食等もホームページ  
 から申し込めるようにしている。
2. 使用する会場は5施設の予定であり,会場  
 が分散しているので,効率よくプログラムを  
 進めるよう計画している
3. 行政の方を対象に公衆衛生行政研修フォー  
 ラムを6題計画している。また,最終日には  
 市民公開フォーラムと特別研修プログラムを  
 予定している。

学会員の質の向上のため教育講演等について昨  
 年度から補助しているが,今年度は委員会主催の  
 フォーラムも数題開催することもあり,このこと  
 も考慮し補助することとした。

以上につき,本議案は了承された。

##### 第2号議案 第66回(平成19年度)日本公衆衛生 学会総会について

小西正光次期学会長から,以下のとおり説明が  
 あった。

1. 7月に実行委員会を開催する予定であり,  
 県の施設を4会場確保した。
2. 代行事務の委託先を選定するために募集の  
 案内を,本学会のホームページを利用して行  
 いたい。

以上につき,本議案は了承された。

##### 第3号議案 第67回(平成20年度)日本公衆衛生 学会総会について

敏 博理事から受入れ準備は順調に進められて  
 いる旨説明があった。

以上につき,本議案は了承された。

##### 第4号議案 個人情報保護規定等について

遠藤 明理事から個人情報保護規定案について  
 説明があった。

学会総会事務局が扱う個人情報を規定の中にと  
 のように織り込むか検討され,作成中のIT利用  
 ガイドラインも参考に7月の理事会に再度諮ること  
 とした。

##### 第5号議案 総会補助金について

大井田隆理事から総会の補助金について説明が  
 あり,検討の結果,従来どおりとすることとした。

以上につき,本議案は了承された。

##### 第6号議案 IT利用ガイドラインについて

大井田理事からIT利用ガイドラインについては  
 作成中であり,7月の理事会には提出する予定

である旨説明があった。

したがって、富山の学会総会事務局からのホームページのリンクの依頼と小西次期学会長からのホームページ利用の依頼については、ガイドラインが作成中のため個別に対応し、了解することとした。

#### 第7号議案 その他

1. 實成理事長から日本医学会評議員、連絡委員、医学用語委員、代委員の選出について説明があった。

協議の結果、評議員は近藤健文理事、連絡委員は岸玲子理事、医学用語委員は小林廉毅理事、代委員は甲斐一郎編集長にお願いすることとした。

2. 實成理事長から、納谷敦夫指名理事は、退職に伴い全国衛生部長会の会長職を退かれたので、理事を辞職した。後任は5月の全国衛生部長会総会で決定する予定であり、決まり次第、指名理事をお願いしたい旨説明があった。

以上により、本議案は了承された。

#### 報告事項

##### 1. 委員会報告

###### 1) 編集委員会

小林廉毅編集担当理事から以下のような報告があった。

(1) 編集委員会規定第3条 編集委員15名以内を20名以内とする。また、6条の編集副委員長1名を2名に変更したい。変更が認められるならば、とりあえず編集委員を3名追加したい。

(2) 投稿規定のチェック表に倫理的配慮についての項目を追加した。また、著作権委譲承諾書の文言を一部追加した。

(3) 編集委員会における投稿論文の研究倫理に関する方針を検討中である。

検討結果、編集委員会規定の変更については了承された。

###### 2) 21世紀の公衆衛生研究戦略委員会

柳川 洋委員長から、当委員会は時代の転換点にある現在、過去の点検・評価を踏まえて現状を整理し、来るべき未来社会を予測し分析しつつ、人びとの健康・福祉の向上に寄与すべき公衆衛生研究戦略を立て推進することを目標としている旨と2月17日開催の委員会の報告があった。

###### 3) 生涯学習・研修委員会

上島弘嗣委員長が欠席のため大井田理事から3月22日開催の委員会の報告があった。

専門職制度検討委員会と連携して活動することとなっているが、制度ができあがるまでは今必要な研修を考えることとし、今年は「公衆衛生活動・研究論文の書き方」について研修会を開催する予定である。

また、「食育」のシンポジウムは来年の学会総会で検討することとし、今年は自由集会を行うことが提案された。

###### 4) 地域保健医療福祉委員会

阿彦忠之委員長欠席のため大井田理事から、第65回総会公衆衛生行政研修フォーラム「介護予防」開催について説明があった。

###### 5) 公衆衛生看護のあり方に関する委員会

村嶋幸代委員長が欠席のため平野かよ子理事から、3月21日のワーキング委員会の報告と今年度の活動、第65回総会公衆衛生行政研修フォーラムについて報告があった。

また、学会員を対象に「保健師の教育年限」についてのアンケート調査を、学会誌かホームページを活用して行いたいとの説明があったが、学会員にアンケート調査を行う場合はどのような内容を提示するか明確にしたほうがよい、調査する対象を絞り込んだほうがよいのではないかとの意見が出された。

これを受けて6月のワーキング委員会で内容を再度検討し、7月の理事会に具体案を提出することとした。

###### 6) 専門職制度検討委員会

相澤好治委員長から2月17日と4月10日開催の委員会、第65回総会公衆衛生行政研修フォーラムについて報告があった。

2月の委員会では専門職の必要性、学習基本内容、公衆衛生大学院の現状について検討し、4月の委員会ではこれからの工程表を作成し公衆衛生専門職の概念について検討した。

###### 7) 庶務会計広報連絡会議（総務委員会）

大井田理事から、学会長講演、教育講演などを日本公衆衛生雑誌に掲載することについて検討した結果、ルーチン化はせず学会長から希望があった場合に実施する、しかし掲載は教育的意義から総説の形式とする、年度を超えた原稿は掲載しない、とした旨報告があった。

## 2. 第73回日本医学会定例評議員会について

2月22日に開催された第73回日本医学会定例評議員会に出席した實成理事長から、第27回日本医学会総会（大阪）の準備状況、および平成17年度医学会に新規加盟が認められた学会は内視鏡外科学会と透析医学会である、また、第28回日本医学会総会は2011年に東京で開催される旨報告があった。

## 3. 名誉会員の推戴等について

近藤健文理事から名誉会員の候補者を6月中に事務局まで、推薦してほしい旨依頼があった。

## 4. 医学教育モデルコアカリキュラムの調査の回答について

實成理事長から全国医学部長病院長会議から依頼のあった調査についての回答について説明があった。

次回理事会は7月25日(火)東京厚生年金会館で1時半から開催の予定である。

以上で議事を終了し、實成理事長が閉会を宣した。

---